

宇城市全域での資源ごみ分別収集早期実現を!



宇城市地区環境対策委員会
会長 蔵田 剛 (松橋町西下郷)

現在、世界規模で石油をはじめとして鉄、アルミなどの資源が人類の大量消費、大量投棄のつげとして急激な減少が叫ばれています。資源を大切に、地球環境

浄化のためにも一日も早い全市域での実施を願って松橋町の分別収集の現況を紹介し、これから実施される地域の参考に供したいと思います。

松橋町は平成10年度から資源ごみの分別収集をはじめ、現在、町内56カ所で収集をしています。それに伴い、行政区ごとに環境対策委員を選任し、地区住民に対する啓発活動や収集場所での指導、助言、円滑な運営に当たっています。行政サイドでは校区ごとの一年間の収集カレンダーを作成し、全家庭に配布し、協力を呼び掛けています。

収集当番(8~10名程度)は小組合か隣保班の輪番制で担当していますが、老人会で引き受けて実施している地区もあります。地区により多少異なりますが、毎月1~2回の収集で、午前7~9時ごろまでの1~2時間、季節によっては6時半~7時半に実施している地区もあります。

地区住民からも近ごろ「道端や空き地へのポイ捨ても少なくなり、また、家庭内でも庭隅に山積みしていた缶、びんの整理もでき、新聞、チラシ、古着等、今まで燃えるごみとして出していた物が資源ごみとして再利用されると思うとうれしい」「月に2回出すことができるので家の中の整理・整頓もできて家の中がすっきりしてきた」と喜ばれています。

次に松橋町が小中学生に対し、環境問題や資源に対し関心を持ち、認識を高めるために実施している夏休みを利用した分別収集体験学習について紹介します。

①居住区の分別収集に参加して、小学生は自宅から持参したごみを分別する ②中学生は民生委員、環境対策委員の指導の下、独居老人、高齢者家庭を訪問し、ごみを収集し分別する ③環境対策委員から再利用、減量についての話を聞き、理解を深める。

約1時間の体験ですが保護者の参加もあり、小中学生のみでなく地域住民の意識の高まり、啓発にもつながるものと思います。

宇城市では平成20年度までに全域で資源ごみのコンテナ収集がなされる計画のようです。「地域の環境は自分たちで守る」という認識で、地域住民が協力すれば早期実現できるものと確信し、期待しています。



市役所本庁ロビーに、ごみ分別収集のサンプル(19品目)を展示しています。来庁の際は、ぜひご覧ください。

実施から9年・松橋町の取り組み

松橋町は平成8年9月に「分別収集計画」を策定。これに基づき、同年11月から北11区をモデル地区として分別収集をスタートしました。

そして、半年後は新たに9地区をモデル地区に選定。次に実施地区を広げ、平成10年4月、町内全域で分別収集がスタート。地区民にごみの分別が定着していききました。

分別収集の成果として、まず挙げられるのが、「リサイクル効率の上昇」です。分別の徹底が進み、清掃施設組合での中間処理を行わず、収集場所から直接再生施設(民間)へ引き取ってもらうことができる品目が出てきました。つまり、清掃施設組合への搬入量が削減されたのです。

次に、「不燃物収集場所(主に公民館)周辺の美化」です。収集場所へ収集日(月1回)以外に常時出されていたごみが極端に減りました。

分別収集に参加して

松橋中学校3年
皆 吉 優 利



僕は、小学生の時からずっと分別収集に参加しています。面倒だけど分別収集はとても大切だと思います。でも、残念なことに、分別収集の時にごみを集める場所で分別する人がいます。そこで分別をすると皆に迷惑を掛けます。だから、家できちんと分別をしてきてほしいと思いました。

また、分別収集は、自然環境を守るためにとても大切なことだと思います。分別収集をしなかったら、物がただ捨てられるだけで、貴重な資源が無駄になります。だから、皆で分別収集を徹底し、資源を有効に再利用していくことが大切だと思います。

これからは、今まで以上に家での分別に協力し、ごみは大切な資源と考え、周りの人たちにも分別収集の意義を伝え、限りある資源を大切にしていきたいと思っています。



8月10日に行われた南豊崎区の分別収集。子どもたちも慣れた手つきで資源ごみを分別

そして何より効果的だったのが、「住民意識の向上」です。ごみ分別収集日が地域住民同士の情報交換の場となり、不法投棄やごみ排出ルール違反等の防止、早期発見、対策につながっています。

また、夏休み期間中は、小・中学生が各地区の分別収集に参加。ごみ問題を考えると共に、ボランティア精神を身に付けるいい機会になっています。